

平成29年1月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成29年1月18日（水）午後2時00分
- 2 閉 会 平成29年1月18日（水）午後4時20分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 議 案
議案第15号 三木市文化芸術賞選考委員会委員の選任について
議案第16号 平成28年度三木市スポーツ賞被表彰者の決定について
- 5 協議事項
協議事項17 平成29年度三木市教育の基本方針について
- 6 報告事項
- 7 その他
次回教育委員会定例会の開催日時について
- 8 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	委 員 長	里 見 俊 實
	2番	委員長職務代行者	井 口 徹
	3番	委 員	石 井 ひろ美
	4番	委 員	浦 崎 秀 一
	5番	委員（教育長）	松 本 明 紀
事務局		教育企画部長	西 本 則 彦
		こども未来部長	永 尾 勝 彦
		こども未来部参与	岩 崎 恵
		教育政策課長	大 西 真 一
		教育環境整備課長	貞 松 保 夫

文化スポーツ振興課長	堀 内 基 代
図 書 館 長	伊 藤 真 紀
学 校 教 育 課 長	横 田 浩 一
教育センター所長	大 東 豊
就学前教育・保育課長	成 瀬 拓 生
子育て支援課長	井 上 典 子
教育政策課主査	五百蔵 一 也
教育政策課主任	橋 本 祥 子

傍 聴 者 0 人

◇ 会議内容

委員長が議事の進行について、議案第15号及び議案第16号は個人に関する情報を含む案件であるため、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開で審議することについて委員に諮り、同意された。

1 開 会

委員長が、平成29年1月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、井口委員長職務代行者と石井委員を指名した。

3 会議録の承認

委員長が、平成28年12月定例会（16日開催）の会議録について委員に諮ったところ、全員一致で承認された。

4 協議事項

【協議事項 17】

平成29年度三木市教育の基本方針について

○横田学校教育課長が次のように説明した。

平成29年度三木市教育の基本方針について、28年度からの変更点を中心に説明する。

編集のねらいとして、三木市教育大綱及び第2期三木市教育振興基本計画との整合性を図り、県教委の「指導の重点」の趣旨を尊重しつつ、三木市としての地域性及び独自性を打ち出すものとする。

全体の構成を示すページには、冒頭で0歳から15歳までの切れ目のない教育・保育に取り組むこと及び社会教育の推進について記載した。

重点取組について、「社会教育施設等における生涯教育の充実」を新たに追加した。

次に、施策・実践項目について、就学前の教育・保育の推進の中で、「小学校へのスムーズな就学」及び「在宅児童の保護者に対する支援」という項目を追加した。「確かな学力」の向上の中で、「学習習慣及び生活習慣の改善」及び「放課後学習支援の充実」という項目を追加した。「グローバル人材を育成する教育」の推進という施策及び「話せる英語教育の推進」等について項目を追加した。安心・安全な教育環境の整備の中で、「学習機会の保障」という項目を追加した。小規模校の良さを生かした学校規模に応じた教育環境の充実という施策を追加し、「小規模校のメリットを生かした教育活動の推進」及び「学校の適正規模・配置の検討」を項目として追加した。地域に根ざした生涯学習と市民活動の活性化の中で、「多様な学びの機会の提供」という項目を追加した。

施策・実践項目・取組内容について、学習習慣及び生活習慣の改善において、全国学力・学習状況調査の結果等を分析し、改善に向けて組織的に取り組んでいくこと、また、「みきっ子家庭学習ガイド」を活用し、学校と家庭が連携した望ましい学習習慣及び生活習慣の定着について記載した。生徒指導の充実では、スクールソーシャルワーカーの助言や協力を得て、関係機関との強固な連携体制を推進すること、いじめの積極的な認知と未然防止、早期発見等を記載した。特別支援教育に係る連携体制の強化において、合意形成を

図った上での「合理的配慮」の提供並びにその成果の検証・評価を記載した。安心・安全な教育環境の整備に係る学習機会の保障において、就学援助事業及び特別支援教育就学奨励事業の推進、奨学金の給付、スクールソーシャルワーカーを中心とした連携強化について記載した。学校施設などの整備の推進については、校舎のトイレの洋式化の推進について記載した。小規模校の良さを生かした学校規模に応じた教育環境の充実に係る小規模校のメリットを生かした教育活動の推進において、きめ細やかな指導、異年齢集団の活用、インターネット会議システムによる合同学習について記載した。学校の適正規模・配置の検討では、「学校環境あり方検討会議」の設置、学校環境に関する方針案の作成について記載した。人権尊重の文化に根ざしたまちづくりの推進に係る人権教育・啓発の充実に、三同教スリーサポーターズ登録制度について記載した。地域及び家庭の教育力の向上に係る子どもを守り育てる地域づくりの推進では、「ネット見守り隊」事業の実施について記載した。子育て不安を抱える家庭への支援において、子育て総合相談窓口における子育て相談の実施について記載した。市民ニーズに対応した図書館の充実に係る中央図書館を核としたネットワークの推進では、市民参加による図書館の運営の充実と生涯学習の場の提供について記載した。生きがいとうるおいを感じる文化の育成に係る地域の文化資源を活かした文化の振興では、文化継承を担う次世代の人材育成について記載した。

今後のスケジュールは、今回いただいたご意見を事務局で精査し、2月に議案として提出する。議決後印刷に入り、3月末には各校及び関係機関に配布する。

(井口委員長職務代行者) 取組内容において、重点マーク、二重丸、一重丸が付されているがどういう意味か。

(横田学校教育課長) 重点マークは重点取組、二重丸は新規又は修正、一重丸は従来から継続として示している。冊子の最初の頁に説明を入れる予定である。

(里見委員長) 一般的なイメージでは、二重丸が重要で重点マークを付されていそうだが、一重丸にも付されており、非常に分かりに

くいので整理してもらいたい。

(石井委員) 重点取組を上段にまとめて並べる等、見やすくなるよう工夫してほしい。

(井口委員長職務代行者) 人権尊重の文化に根ざしたまちづくりの推進に係るいじめ防止の推進において、「弁護士による中学生への出前授業等」とあるが、中学生と限定されているのはなぜか。

また、男女共同参画の推進において、平成28年度の「DV等の防止・根絶の推進」を平成29年度は「DV防止に向けた啓発」と簡潔な記載に変えたのはなぜか。

(横田学校教育課長) 所管課に確認し、次回お示しする。

(石井委員) 「三同教スリーサポーターズ登録制度」及び「ネット見守り隊」はどのようなものか。

(横田学校教育課長) 三同教スリーサポーターズ登録制度は、三木市人権・同和教育協議会の活動をより市民主体の活動にしていくことをねらいとして、今年度からできた制度である。イベントの案内を希望する方、案内希望並びにイベントのボランティアをする方、イベント等の企画段階から参加する方と3段階の支援をしていただくボランティアを募集するものである。

(大東教育センター所長) ネット見守り隊は、今年度からインターネットサイトでの、子ども達に悪影響を及ぼしている問題事案について、特別監視員にネット検索を依頼し、見守りを行っている事業である。人の目の垣根隊と混合されないように、用語解説を追加する。

(石井委員) 本市は外国人居住者が増加しており、その方々への学習支援について力を入れていくことが教育委員会等でも協議することがあるが、どの項目に含まれるのか。

(横田学校教育課長) 「豊かな心」の育成に係る人権教育、子ども多

文化共生教育の推進において、日本語支援及び自己実現の支援について記載している。

(石井委員) 「適切な支援の実施による外国人児童生徒の自尊感情の高揚と自己実現の支援」と記載されているが、支援という言葉が2回出てきて分かりにくい。

(横田学校教育課長) 今年度は「自己実現の確立」としていたが、事務局で協議した結果「自己実現の支援」と文言を変更したが、再度検討する。

(浦崎委員) 地域に根ざした生涯学習と市民活動の活性化に係る公民館を核とした生涯活動の推進について、「公民館を核とした」という表現は、公民館に重きをおいて中心に活動していくということか。

(松本教育長) そのとおりで、強調している。

(浦崎委員) 吉川町公民館では高齢者の活動は活発だが、在宅児童等の活動は児童館でされており、取組が見えない。バランスのとれた環境を作ってほしい。

(松本教育長) 吉川町には児童館があり、口吉川地区等もカバーしながら、講座等が開催されている。緑が丘地区や自由が丘地区等は、児童センターが遠いため、基本的には各公民館で講座等を開催している。バランスの問題である。

(里見委員長) 全体的にはとてもよくまとまっている印象であるが、この基本方針は、「当該年度における本市教育の具体的な取組を提示するもの」であり、教育の実施計画である。できる限り抽象的な所は具体化してもらいたい。例えば、「確かな学力」の向上に係る学習習慣及び生活習慣の改善において、「基礎的・基本的な知識・技能の習得…主体的に学ぶ意欲・態度の育成」とあるが、例示を1つ挙げる等、実施計画だという認識を持ち再度検討してほしい。

(横田学校教育課長) ご指摘を基に再度検討する。

(里見委員長) 教育基本方針は誰のために作成するものか。

(横田学校教育課長) 教職員が中心であるが、公民館等関係機関にも配布するため、市民の方にもご覧いただける。

(里見委員長) 中身は学校教育についての記載が多いが、就学前教育・保育や社会教育についての内容を含み、市民全般を対象としたものである。簡単な内容にする必要は無いが、教職員のみならず、市民にとっても読みやすい体裁にしてほしい。

また、「貧困」という言葉がどこにも出てきていないが、意図的に使用していないのか。

(横田学校教育課長) 貧困対策については、文言は記載していないが、安心・安全な教育環境の整備に係る学習機会の保障の中で記載している。

(里見委員長) 奨学金の給付事業等が記載されているが、当市には、貧困家庭は無いという認識でよいか。

(松本教育長) 厚生労働省が定める子どもの貧困の定義に当てはまる家庭が当市にもある。概ね要・準要保護家庭が対象となるが、子どもの約6人に1人の割合であり、国の統計とほぼ一致するような認識である。

5 報告事項

(1) 教育環境整備課報告事項

○貞松教育環境整備課長が次のように報告した。

全国学校給食週間の取組として、1月24日から30日までを「食で関西 再発見!」をテーマに、関西の郷土料理や特産を使用した献立を提供する。

次に、認定こども園・学校の施設整備について、12月末時点の進捗状況を報告する。(仮称)緑が丘認定こども園整備工事は80

パーセント、よかわ認定こども園整備工事は75パーセントである。広野小学校及びみなぎ台小学校屋内運動場非構造部材耐震化工事は90パーセント、自由が丘中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事は20パーセントである。

(里見委員長) 全国学校給食週間の取組の主催と経緯について問う。

(貞松教育環境整備課長) 文部科学省で全国学校安全給食週間が定められ、各自治体で様々な取組が行われている。「食で関西 再発見！」は三木市独自の取組である。

(2) 文化スポーツ振興課報告事項

○堀内文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

みき歴史資料館のイベントとして、ギャラリートークを1月15日に開催し、参加者は16名であった。第69回三木市成人式を、1月8日に文化会館で開催した。79%の出席率であった。

今後の予定として、みき歴史資料館では、企画展「地域の史料たち～みんなが主役の市史編さん」を2月11日から3月26日にかけて開催する。企画展特別講演会として、「市民が主役の自治体史」を2月26日に開催する。桃の節句の雛祭り呈茶を三木市茶道協会のご協力を得て同日に開催する。歴史講座⑩「別所の血を守り抜いた武将 別所重棟について」を2月12日に開催する。三木城跡周辺の施設においてお雛さまを展示するとともに、スタンプラリーを2月19日から3月3日にかけて開催する。その他として、第63回三木市展をかじやの里メッセみきで2月2日から2月5日まで開催する。三木市スポーツ賞表彰式を教育センターで2月18日に開催する。

(3) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

実施事業として、展示「染形紙と切り絵～日本の伝統文様」を中央図書館で1月6日から29日まで開催している。同期間中、読書手帳「三木形紙バージョン」を設置・配布しており、追加作成するほど好評を得ている。また、所蔵DVD「父と暮せば」の上映会を吉川図書館で1月14日に開催し、参加者は12名であった。

今後の予定として、三木市社会福祉協議会及び朗読ボランティア「むれの会」のご協力を得て、録音図書の提供を1月20日から開始する。このサービスの開始により、活字読書が困難な方が対面朗読が行われない日であっても、音声による読書を楽しんでいただくことが可能になる。また、図書館ボランティアいどばた会議を中央図書館で1月29日に開催する。第2回図書館協議会を中央図書館で2月2日に開催する。

(4) 学校教育課報告事項

○横田学校教育課長が次のように報告した。

第10回定例校園長会を1月11日に開催した。学校主要行事として、第3学期の始業式を小、中、特別支援学校は1月10日に行った。志染中、星陽中において、スキー実習を本日から実施している。

今後の予定として、各中学校においてスキー実習が順次実施される。三木市立学校園造形作品展をかじやの里メッセ三木で1月21日から1月23日にかけて開催する。第11回定例校園長会を2月9日に開催する。三木市連合PTA研究発表会を三木山森林公園で2月11日に開催する。私立高校の入試が2月10日、公立高校の推薦入試及び特色選抜等が2月15日に予定されている。

(5) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業として、適応教室関係は、1月現在で10名在籍している。今後の予定として、CGアートコンテスト作品審査会を、1月20日に実施し、2月11日に表彰式を行う。また、作品展示を市役所プロムナードで2月14日から2月26日にかけて行う。教育研究員発表会（ニュー教育ウェーブ）を2月24日に開催する。

青少年センター事業では、年末年始、成人式及び戎神社において特別補導を実施した。今後の予定として、青少年補導委員人権研修会を1月28日に開催する。

(6) 就学前教育・保育課報告事項

○成瀬就学前教育・保育課長が次のように報告した。

第10回三木市保育協会理事会を1月13日に開催した。第三者評価実施及び第三者監査を日程のとおり実施した。

今後の予定として、第三者評価及び第三者監査を引き続き実施する。保育者交流研修会(人権研修講演会)を1月21日に開催する。第11回三木市保育協会理事会を2月2日に開催する。保育者合同研修会を2月4日に開催する。民間認定こども園「人権研修」を日程のとおり実施する。また、平成29年度市立幼稚園、認定こども園、保育所における式等は記載の日程のとおりである。

(里見委員長) 第三者評価や第三者監査が続いているが、対象の園はトラブルなく協力的に受けておられるのか。

(成瀬就学前教育・保育課長) どの園も非常に協力的である。

(7) 子育て支援課報告事項

○井上子育て支援課長が次のように報告した。

多世代交流拠点施設整備事業者選定プロポーザル審査を12月20日に実施し、最優秀技術提案者に大久保体器(株)を選定した。「大型遊具の設計に意見を出そう!小学生ミーティング」を1月14日に開催し、市内の小学5、6年生28名が参加した。大久保体器(株)のプレゼンを聞き、子ども達の視点から多数の意見が提案され、有意義な会議となった。また、第2回みきっ子未来応援協議会子育て環境部会の視察を同日に開催した。

今後の予定として、子育て講演会を教育センターで1月19日に開催する。

(里見委員長) 小学生ミーティングに参加した子ども達は積極的に意見を出していたか。

(井上子育て支援長) 積極的な参加者が多く、業者から大変参考になったと感想をいただいた。

(永尾こども未来部長) 参加した子ども達の大半は、自分たち自身の視点ではなく、就学前までの子どもの安全に配慮した視点から発言をしており、大変驚いた。

(里見委員長) 心豊かに育っていることが感じ取れる。子ども達が企画から参加できる事業はとてもいい発想である。

6 その他

次回教育委員会定例会の開催日時について

委員長が、次回の教育委員会定例会の開催予定日時について諮り、平成29年2月15日、午後2時から開催することを決定した。

(非公開)

【議案第15号】

三木市文化芸術賞選考委員会委員の選任について

【議案第16号】

平成28年度三木市スポーツ賞被表彰者の決定について

議案第15号及び議案第16号は、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開として審議したため、同規則第31条の規定により、内容については記載しない。

委員長が、議案第15号及び議案第16号について採決を行い、議案第15号は原案に一部修正を加え、また議案第16号は原案のとおり可決された。

7 閉 会

委員長が、平成29年1月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。